

2005年9月5日

発行
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・川上 恵太
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

激戦続いた開幕戦 大崎、広島らが白星スタート

~第30回日本ハンドボールリーグ第1週~

第30回日本ハンドボールリーグは9月3日に開幕、神奈川、徳島で男子3試合、女子2試合が行われた。男子は神奈川・横浜文化体育館で大崎電気 - ホンダ、大同特殊鋼 - 湧永製薬と前回プレーオフ準決勝の再現となる好カードが組まれた。

昨シーズンの王者・大崎電気と同4位のホンダの一戦は大崎ペースで進んだ。加藤、猪妻、永島の3連続得点で好発進すると、狙いとする速い攻撃が機能。堅守から、豊田、猪妻が速攻に飛び出していき、前半22分17-8とハイペースで得点を積み重ねていった。柳本、阿部のサイド、小倉の強打で食い下がるホンダに追撃のチャンスが生まれたのは9点差を追う後半10分すぎ。退場者が続出した大崎がC P 3人に。一気に差を詰めたいホンダにはまたとない好機だった。だが、ここで大崎・加藤が豪快なステップシュートを一閃。この日が誕生日で「いつもより気合いが入っていた」という加藤の果敢なプレーがホンダの反撃の波を抑えこんだ。最大のピンチをしのいだ大崎はその後も得点ペースを緩めず、結局、41点をマークする大勝。連覇に向けて好スタートを切った大崎・首藤監督は「30点取られたのは課題。悪い流れもあったがよく勝てた」とホッとした表情。一方、ホンダ・荒木監督は「失点を抑えるべく練習してきたが、思ったような試合ができなかった」と自慢の堅守が崩れたことを悔やんでいた。

昨シーズン2位の大同特殊鋼 - 同3位の湧永製薬戦は1点を争う好勝負となった。新外国人・李才佑をケガで欠く大同特殊鋼は趙範衍を起用。その趙の得点で試合は幕を開けた。白元皓、趙の韓国人コンビや末松が高い個人技で得点をあげる大同に対し、湧永は大同の3:2:1 D Fを古家、小藪、東が強気に攻め、下川のサイドなどにつなげていく。緊迫した接戦は最後までもつれた。残り1分、31-30とリードした大同は、白が中央を突破して貴重な追加点。湧永もすぐに古家が1点を返すと、残り10秒、同点をめざして最後の攻撃をしかけたが、シュートまで持ち込めなかった。きわどい勝負を制し、初采配を飾った大同・姜在源監督は「ベストメンバーを欠いて苦しかったが、勝てて良かった」と李や松林ら主力を欠いたなかでの勝利を喜んだ。白に14点を許すなど守りに安定感を欠いた湧永のG K坪根は「ウチは守って勝つチーム。守れなかったのが残念」と話した。

徳島で行われた昨シーズン5位のトヨタ車体と同7位のホンダ熊本の争いは、31-28でトヨタ車体が勝利を収めた。試合はG K木下の好守もありトヨタ車体D Fが好調、速攻や野村、香川のカットインにつなげていった。トヨタ車体は残り10分30-24としてから、上田、櫛田、大井らホンダ熊本の追撃を受けたものの、3点差でしっかりと逃げ切った。

女子は前回プレーオフ決勝で激闘を演じた広島メイプルレッズとオムロンがいきなり対決。センターで起用されたルーキー久野をはじめ、積極的な姿勢で女王にぶつかったオムロンが前半25分14-11とリード、広島も青戸、金鎮順、杉本の3連打で追いつき、同点で前半を終了。後半も一進一退の攻防が続く。こうした緊迫した展開になると百戦錬磨の広島の集中力がモノをいう。残り5分27-25と広島リードの場面で得た7m Tを失敗するなどオムロンが大事なシュートを外したのに対し、広島は金、杉本、大前がすかさず3連取、勝負を決めた。キャプテン青戸が「ミスが多かった。勝てたのは運です」と話したように広島もミスが目立ち完全な状態ではなかったが、勝負所での決定力は健在だった。ソニーセミコンダクタ九州と北国銀行の試合はスピーディな展開。開始1分あまりで3点と持ち前のスピードで攻め立てるソニーに北国銀行もG K田代のセーブから「守って速攻」で対抗。北国銀行はセットO Fで新人の大型ポスト谷口を有効利用、ポストが警戒されれば中村、上町が打ち抜く形で19-17とリードして折り返した。ところが、後半は田中を中心に郭惠静、長野らが勢いよく飛びこむソニーの攻めを防ぎきれず、北国銀行に退場者が続出。この隙を逃さず、郭のミドル、山田のカットインで畳みかけたソニーが34-31で見事に逆転勝利を収めた。

日本リーグのオープニング5戦は、スピード豊かな激戦が続出。今後の白熱したリーグ戦を予感させるスタートとなった。

第2週の日程

[1 部]

9月10日(土)石川・金沢市総合体育館(J R 北陸本線金沢駅バス25分)	13:00~(女)北國銀行 × H C 名古屋 15:00~(男)ホンダ × トヨタ車体
9月11日(日)福島・本宮町総合体育館(J R 東北本線本宮駅徒歩15分) 栃木・日立栃木体育館(東武日光線新大平下駅徒歩2分) 愛知・枇杷島スポーツセンター(名鉄名古屋本線東枇杷島駅徒歩7分)	14:00~(男)大崎電気 × トヨタ紡織九州 13:00~(女)メイプルレッズ × ソニー 14:30~(男)大同特殊鋼 × ホンダ熊本

[2 部] 9月10日(土) 東京・駒沢屋内球技場 14:00~ HC東京 × トヨタ自動車



14点と爆発した大同特殊鋼・白元皓

第2週 開幕ダッシュを狙う大崎ら ソニーの挑戦にも注目

9月10、11日の次週も男子3試合、女子2試合が組まれている。男子でV2を狙う大崎電気はトヨタ紡織九州(アラコ九州から改称)のチャレンジを受ける。ホンダとの開幕戦で41-32と圧勝した大崎電気は、エース宮崎をはじめ、豊田、猪妻らが好調に得点にからみ、名手・中川が抜けた穴もセンター加藤が7得点をマークするなど絶好調。一方、抜群のスピードを誇るトヨタ紡織九州も若手の進境や新戦力の補強で戦力アップしており、そうやすやすと大崎電気の進撃を許すまい。ハイテンポの白熱した攻防戦が期待できそうだ。

そのほか白星発進の大同特殊鋼がホンダ熊本、トヨタ車体はホンダと対戦して連勝スタートを狙う。大同特殊鋼は松林、市原、新加入の李才祐ら主力に故障者が続出しているが、白元皓、末松、ペテラン趙範衍らの奮戦でピンチを切り抜け、トヨタ車体もメンバー全員をフル回転させて勝機を切り開いた。ホンダ、ホンダ熊本としても、なんとか連敗は避けたいところ。いずれにしても僅少差の白熱した戦いになりそうだ。

女子2試合では女王・広島メイプルレッズに挑むソニーセミコンダクタ九州の戦いぶりに注目が集まる。開幕前の国体九州予選で常勝・オムロンを倒した勢いを今リーグに持ち込んだソニーセミコンダクタ九州は、北国銀行との緒戦を34-31で競り勝って白星スタートを飾った。故障の回復が心配されていた主砲・郭惠静も元気にプレー、名手・田中、新鋭・長野ら氣力充実の布陣で一発を狙いたい。北国銀行・H.C名古屋は、地元サポーターの前で北国銀行が初勝利を握るか。



大崎電気・猪妻



広島メイプルレッズ・杉本

9月3日(土) 女子1部 神奈川・横浜文化体育館				9月3日(土) 男子1部 神奈川・横浜文化体育館			
広島メイプルレッズ 30 (14 - 14) 27 1勝0分0敗				大崎電気 41 (21 - 16) 32 1勝0分0敗			
オムロン 0勝0分1敗				ホンダ 0勝0分1敗			
K 高 森 勝 田 K <2/6> 2/ 2 土 屋 野 6/ 6 3/ 7 青 戸 安心院 0/ 1 6/11 大 前 許順栄 0/ 0 0/ 0 河 本 西 本 0/ 1 0/ 0 菅 野 吉 田 2/ 2 4/5 0/ 1 坪 井 佐久川 3/ 6 4/ 5 吳成玉 坂 元 3/ 5 0/ 0 坂 口 久 野 3/ 7 <1/5> K 浅 井 藤 間 K 1/1 5/ 7 杉 本 城 内 0/ 0 0/ 0 石 山 卷 0/ 0 3/5 6/13 金鎮順 東 濱 2/ 5 K 江 頭 洪延昊 4/ 7				7/ 8 豊 田 中 谷 1/ 1 7/10 加 藤 鶴 1見 2/ 4 1/2 2/ 4 前 田 柳 本 4/ 7 2/ 2 佐 藤 河 瀬 1/ 1 1/ 3 永 島 竹 田 0/ 0 3/ 4 岩 本 横 地 1/ 3 1/1 0/ 1 森 本 加 藤 0/ 1 2/2 0/ 1 酒 井 青 山 0/ 0 <0/2> K 濱 口 野 嶋 5/ 7 2/2 4/ 7 東 阿 部 3/ 5 <0/2> K 石 原 吉 井 K <1/3> 6/ 6 猪 妻 小 倉 6/ 9 0/ 0 窪 小 谷 羽 賀 5/ 7 7/11 宮 崎 四 方 K			
4/ 6 26/46 8(FPP)11 審判(安田・永春) 観客 1258人				2/3 39/57 15(FPP)13 審判(浜田・小笠原) 観客 1365人			

9月4日(日) 女子1部 神奈川・横浜文化体育館			
ソニーセミコンダクタ九州 34 (17 - 19) 31 1勝0分0敗			北国銀行
クタ九州	34	(17 - 12)	31
1勝0分0敗	0勝0分1敗		
<1/1> K 中 島 木 澤 K <0/3>	澤 遷 0/ 0	大同特殊鋼 32 (16 - 15) 31	湧永製薬
3/4 6/18 郭惠靜 渡 部 0/ 0	5/ 8 趙範衍 小 野 0/ 0	1勝0分0敗	1勝0分0敗
7/10 長 野 渡 部 0/ 0	6/10 末 松 浜 本 2/ 2		
6/ 9 山 田 上 町 5/ 9	0/ 0 奉 村 山 中 1/ 1		
3/4 4/ 7 田 中 村 8/11 1/2	0/ 0 中 谷 小 蔡 2/ 2		
0/ 0 石 崎 新 田 2/ 3	0/ 0 市 原 東 4/ 6		
4/ 6 山 田 船 本 0/ 1	0/ 0 武 田 坪 根 K <0/3>		
0/ 0 水 田 武 井 4/10	2/ 4 畠 中 小 沢 5/ 6 3/3		
1/ 1 高 桑 田 代 K <2/5>	0/ 0 大 田 杉 山 0/ 1		
0/ 0 出 雲 山 住 1/ 2	0/ 0 渡 邊 杉 村 K <0/2>		
<0/3> K 飛 田 若 松 2/ 5	<0/1> K 高 木 古 家 5/ 5		
0/ 0 佐 師 野 路 0/ 0	2/ 2 山 本 渡 邊 0/ 0		
0/ 0 東 谷 口 5/ 6 2/2	5/5 9/14 白元皓 山 口 3/ 7		
6/8 28/51 13(FPP)17 審判(黒木秀・黒木龍) 観客1062人	5/5 27/42 11(FPP)5 審判(浜田・小笠原) 観客 1202人	4/6 27/48 3(FPP)5 審判(河合・田中) 観客 1115人	4/6 27/48 3(FPP)5 審判(河合・田中) 観客 1115人

...日本リーグのホットな情報をどうぞ...

ナマ情報をインターネットで画像とともに.....

日本ハンドボールリーグの公式ホームページをご覧ください。

アドレス http://www.jhl.handball.jp/

iモード版 http://www.jhl.handball.jp/i/

見どころをあなたのものとに郵送いたします.....

日本ハンドボールリーグ公式情報・週間「JHLニュース」

年間25回発行予定/3000円(郵送料込)

公式ホームページよりダウンロードしてご利用いただくことも可能です

日本ハンドボールリーグ委員会 (TEL03-3481-2494・FAX03-3481-2367)

選手・役員登録情報

男子1部

大同特殊鋼

19 姜 在源 1964.11.30 185cm 88kg

左 韓国・富川工高 慶熙大 グラスホッパー

- チューリッヒ(スイス)

9月5日から出場可能

トヨタ紡織九州

・ 登録抹消

No.19 吉田 耕平

男子2部

H.C東京

No.6 伊藤 忍 1976.01.05 170cm 76kg

左 明美台中 此花学院高 大阪体育大

中村荷役

No.13 水野裕矢 1980.07.02 177cm 72kg

右 塩山中 駿台甲府高 明治大 甲府クラブ

9月6日から出場可能

男女1部個人賞レース 第1週終了

《男子》 《女子》

得点王

1 白 元 喆 (大同特殊鋼)	14 点	(1試合)	1 中村 尚美 (北国銀行)	9 点	(1試合)
2 小沢 勝利 (湧永製薬)	8 点	(1試合)	1 金 鎮順 (メイプルレッズ)	9 点	(1試合)
2 大宮 大 (ホンダ熊本)	8 点	(1試合)	1 郭 恵靜 (ソニー)	9 点	(1試合)
4 豊田 賢治 (大崎電気)	7 点	(1試合)	4 谷口 尚代 (北国銀行)	7 点	(1試合)
4 野嶋 智次 (ホンダ)	7 点	(1試合)	4 長野 かづさ (ソニー)	7 点	(1試合)
4 加藤 雄星 (大崎電気)	7 点	(1試合)	4 田中 美音子 (ソニー)	7 点	(1試合)
4 宮崎 大輔 (大崎電気)	7 点	(1試合)	7 水野 恵子 (オムロン)	6 点	(1試合)
8 猪妻 正活 (大崎電気)	6 点	(1試合)	7 吉田 祥子 (オムロン)	6 点	(1試合)
8 香川 将之 (トヨタ車体)	6 点	(1試合)	7 杉本 絵美 (メイプルレッズ)	6 点	(1試合)
8 下川 真良 (湧永製薬)	6 点	(1試合)	7 山田 千尋 (ソニー)	6 点	(1試合)
8 小倉 学 (ホンダ)	6 点	(1試合)	7 大前 典子 (メイプルレッズ)	6 点	(1試合)
8 末松 誠 (大同特殊鋼)	6 点	(1試合)	12 上町 史織 (北国銀行)	5 点	(1試合)
8 野村 広明 (トヨタ車体)	6 点	(1試合)	13 呉 成玉 (メイプルレッズ)	4 点	(1試合)
14 古家 雅之 (湧永製薬)	5 点	(1試合)	13 山田 早織 (ソニー)	4 点	(1試合)
14 上田 竜弘 (ホンダ熊本)	5 点	(1試合)	13 洪 延昊 (オムロン)	4 点	(1試合)
14 羽賀 太一 (ホンダ)	5 点	(1試合)	13 武井 夏紀 (北国銀行)	4 点	(1試合)
14 趙範衍 (大同特殊鋼)	5 点	(1試合)			

フィールド得点賞

1 白 元 喆 (大同特殊鋼)	9 点	(1試合)	1 中村 尚美 (北国銀行)	8 点	(1試合)
2 大宮 大 (ホンダ熊本)	8 点	(1試合)	2 長野 かづさ (ソニー)	7 点	(1試合)
3 豊田 賢治 (大崎電気)	7 点	(1試合)	3 水野 恵子 (オムロン)	6 点	(1試合)
3 加藤 雄星 (大崎電気)	7 点	(1試合)	3 山田 千尋 (ソニー)	6 点	(1試合)
3 宮崎 大輔 (大崎電気)	7 点	(1試合)	3 大前 典子 (メイプルレッズ)	6 点	(1試合)
6 猪妻 正活 (大崎電気)	6 点	(1試合)	3 金 鎮順 (メイプルレッズ)	6 点	(1試合)
6 下川 真良 (湧永製薬)	6 点	(1試合)	3 郭 恵靜 (ソニー)	6 点	(1試合)
6 小倉 学 (ホンダ)	6 点	(1試合)	8 谷口 尚代 (北国銀行)	5 点	(1試合)
6 末松 誠 (大同特殊鋼)	6 点	(1試合)	8 杉本 絵美 (メイプルレッズ)	5 点	(1試合)
10 上田 竜弘 (ホンダ熊本)	5 点	(1試合)	8 上町 史織 (北国銀行)	5 点	(1試合)
10 古家 雅之 (湧永製薬)	5 点	(1試合)			
10 小沢 勝利 (湧永製薬)	5 点	(1試合)			
10 野嶋 智次 (ホンダ)	5 点	(1試合)			
10 羽賀 太一 (ホンダ)	5 点	(1試合)			
10 趙範衍 (大同特殊鋼)	5 点	(1試合)			
10 野村 広明 (大同特殊鋼)	5 点	(1試合)			

シート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 猪妻 正活 (大崎電気)	6点 / 6射 1.000	1 水野 恵子 (オムロン)	6点 / 6射 1.000
1 上田 竜弘 (ホンダ熊本)	5点 / 5射 1.000	2 谷口 尚代 (北国銀行)	5点 / 6射 0.833
1 古家 雅之 (湧永製薬)	5点 / 5射 1.000	3 中村 尚美 (北国銀行)	8点 / 11射 0.727
4 豊田 賢治 (大崎電気)	7点 / 8射 0.875	4 杉本 絵美 (メイプルレッズ)	5点 / 7射 0.714
5 小沢 勝利 (湧永製薬)	5点 / 6射 0.833	5 長野 かづさ (ソニー)	7点 / 10射 0.700

7mスロー得点賞

1 白 元 喆 (大同特殊鋼)	5 点	(1試合)	1 吉田 祥子 (オムロン)	4 点	(1試合)
2 小沢 勝利 (湧永製薬)	3 点	(1試合)	2 郭 恵靜 (ソニー)	3 点	(1試合)
2 香川 将之 (トヨタ車体)	3 点	(1試合)	2 田中 美音子 (ソニー)	3 点	(1試合)
4 加藤 圭介 (ホンダ)	2 点	(1試合)	2 金 鎮順 (メイプルレッズ)	3 点	(1試合)
4 野嶋 智次 (ホンダ)	2 点	(1試合)	5 谷口 尚代 (北国銀行)	2 点	(1試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 田平 龍太郎 (トヨタ車体)	1本 / 1射	1.000	1 中島 亜樹 (ソニー)	1本 / 1射	1.000
2 松岡 厚志 (ホンダ熊本)	2本 / 5射	0.400	2 田代 ひろみ (北国銀行)	2本 / 5射	0.400
3 吉井 丈晴 (ホンダ)	1本 / 3射	0.333	3 勝田 祥子 (オムロン)	2本 / 6射	0.333

4 浅井 友可里 (メイプルレッズ) 1本 / 5射 0.200

第30回日本ハンドボールリーグ成績表

第1週終了 9月4日

順位	1部男子	大崎電気	トヨタ車体	大同特殊鋼	トヨタ紡織九州	湧永製薬	ホンダ熊本	ホンダ	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差	
1	大崎電気							41		1	1	0	0	2	41	32	9
2	トヨタ車体							31		1	1	0	0	2	31	28	3
3	大同特殊鋼					32				1	1	0	0	2	32	31	1
4	トヨタ紡織九州									0	0	0	0	0	0	0	0
5	湧永製薬			31						1	0	0	1	0	31	32	-1
6	ホンダ熊本		28							1	0	0	1	0	28	31	-3
7	ホンダ	32								1	0	0	1	0	32	41	-9

順位	1部女子	ソニー	メイフルレッス	HC名古屋	北国銀行	オムロン	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差	
1	ソニー・セミコンダクタ九州				34			1	1	0	0	2	34	31	3
2	広島メイフルレッス					30		1	1	0	0	2	30	27	3
3	HC名古屋							0	0	0	0	0	0	0	0
4	北国銀行	31						1	0	0	1	0	31	34	-3
5	オムロン		27					1	0	0	1	0	27	30	-3

順位	2部男子	北陸電力	HC東京	トヨタ自動車	豊田合成	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北陸電力					0	0	0	0	0	0	0	0
2	HC東京					0	0	0	0	0	0	0	0
3	トヨタ自動車					0	0	0	0	0	0	0	0
4	豊田合成					0	0	0	0	0	0	0	0

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。